

第2次田村市総合計画 後期基本計画策定に向けた

Tamura Future

ワークショップ

まちの将来像

ワクワクがとまらない 自然とチャレンジが生きるまち 田村市

開 会

本日の
ワークショップ
の内容

01. 総合計画とワークショップの目的について
02. 田村市の“いま”
03. グループワーク
04. 発表

01. 総合計画とワークショップ の目的について

総合計画とは？

今後 10 年間のまちづくりの方向性を示すもの

- 総合計画は、田村市の今後 10 年間のまちづくりの方向性を示す、最も重要な計画です。
- 市民の日常生活に関わる様々な行政サービスや地域活性化など、田村市が取り組むあらゆる事業は、基本的にこの計画に沿って、実施しています。

もう少し細かく見てみましょう！

総合計画は3つの要素から作られています

基本構想

まちの将来を見据えた、10年後の
将来像や目標

【期間：R04～R13】

基本計画

分野ごとの取り組み方針
(産業・教育・福祉など…)

【期間：前期 R04～R08、後期 R09～R12】

実施計画

具体的な事業

【期間：3年間とし、毎年度更新】

ワークショップを開催した目的は？

田村市では、まちづくりに関する計画を検討中

- 田村市は、令和2～3年度に多くの市民の皆様とともに「第2次田村市総合計画」を策定しました。
- 計画策定から3年が経過し、田村市にお住まいの方や関わりがある皆さんとともに、これまでの取り組みを振り返るとともに、後期基本計画をつくるにあたってご意見をいただきながら作っていくことが大切であり、その方法の一つとして、ワークショップを開催します。（このほかに、アンケート調査、パブリックコメント等）

ワークショップ全体のテーマ

「ワクワク」

と

「チャレンジ」

を考えるワークショップ

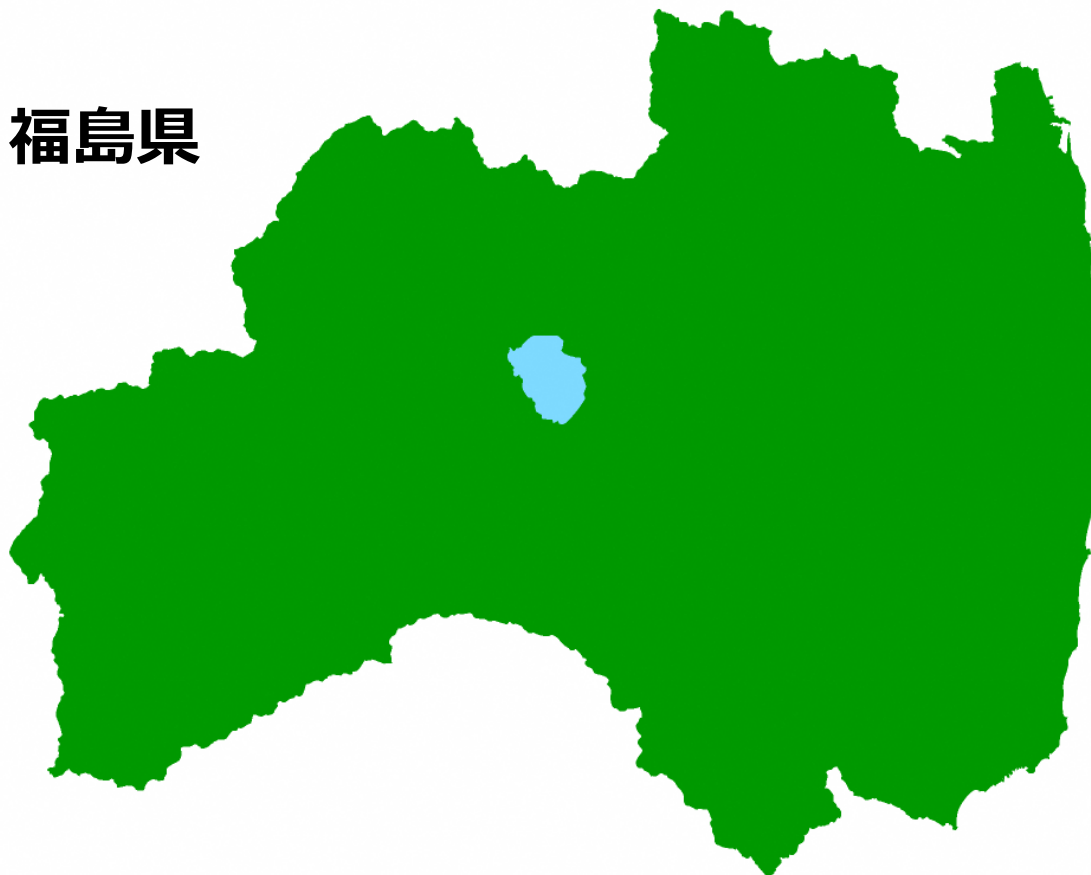
● このワークショップは今年度中に計4回開催予定

回	日程	テーマ
①	11/29 (土) 9:30~11:30	みんなで作ろう! 「まちの通信簿」
②	12/21 (日) 9:30~11:30	未来につながるアイデアを考えよう!
③	令和8年 1/31 (土) 9:30~11:30	
④	2/28 (土) 9:30~11:30	みんなのアイデアを共有しよう!

02. 田村市の“いま”

突然ですが・・・田村市の形、描けますか？

福島県



正解は・・・

- 平成 17 年に旧 5 町村（滝根町・大越町・都路村・常葉町・船引町）が合併し、誕生
- 高原特有の丘陵起伏があり、高原景観を一望できる絶景ポイントや森林も豊富な典型的な中山間地域。
- 磐越自動車道の田村スマートインターチェンジや国道 288 号船引バイパスの開通により、アクセス性が一段と向上。
- 昼夜の寒暖差の大きい環境を生かした農業や「あぶくま洞」に代表される豊かな自然と文化を生かした観光が盛ん。工業団地や起業・リモートワークを支援するテラス石森など、新しい事業や自分らしい働き方を実現できる環境を整備。



どのくらいの人が住んでいる？・・・

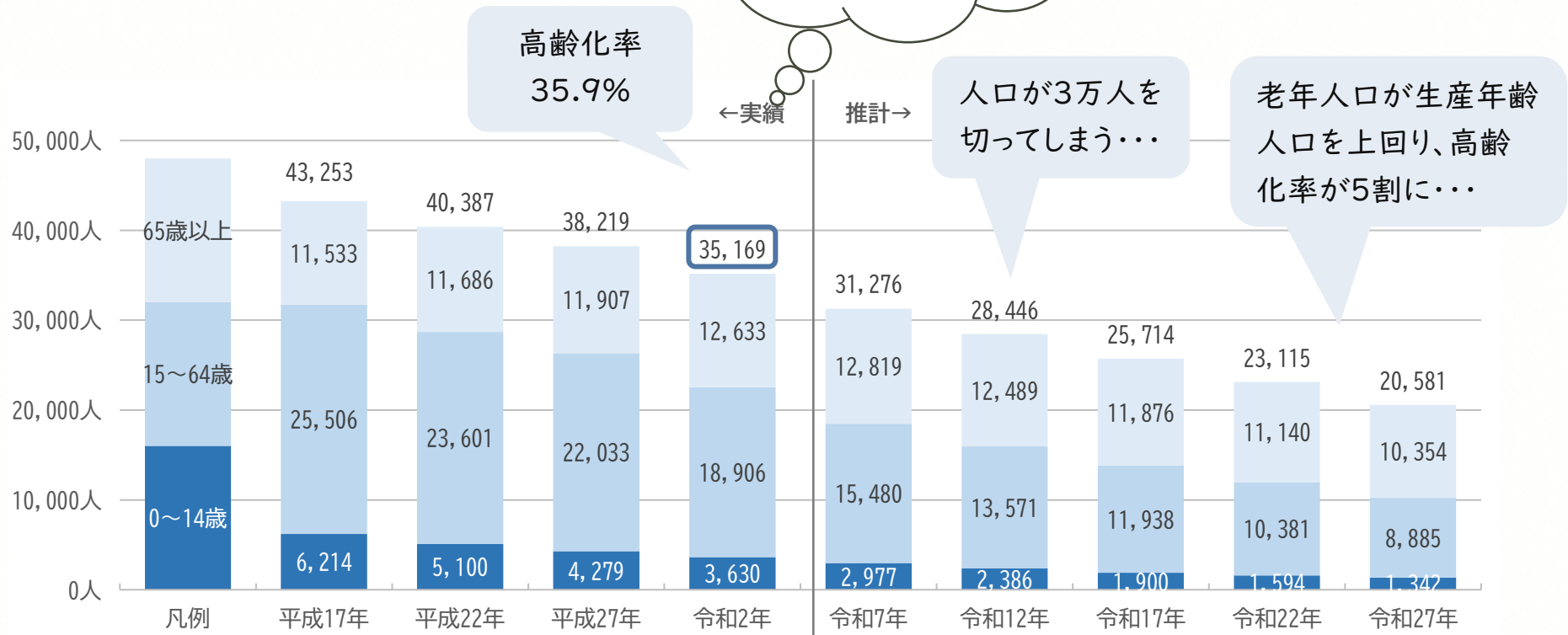
田村市の人口はどの区分？県内 58 自治体中何番目？

① 1 万人未満	： 33 自治体
② 1 万～5 万人未満	： 16 自治体
③ 5 万～10 万人未満	： 5 自治体
④ 10 万人以上	： 4 自治体

(令和 2 年国勢調査より) ※双葉町除く

人口

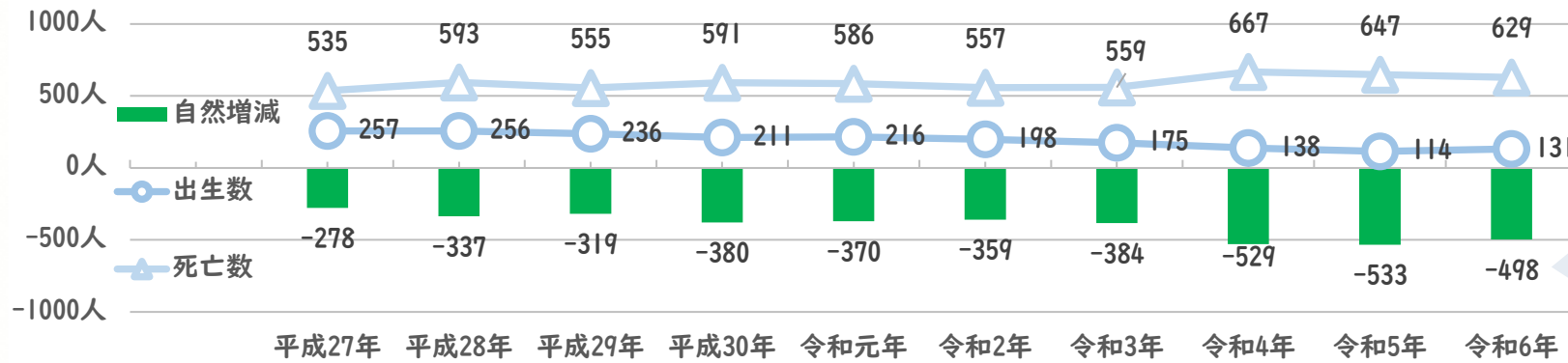
答えは② 1万～5万人
未満、県内で11番目



(※年齢不詳は非表示 令和2年国勢調査より)

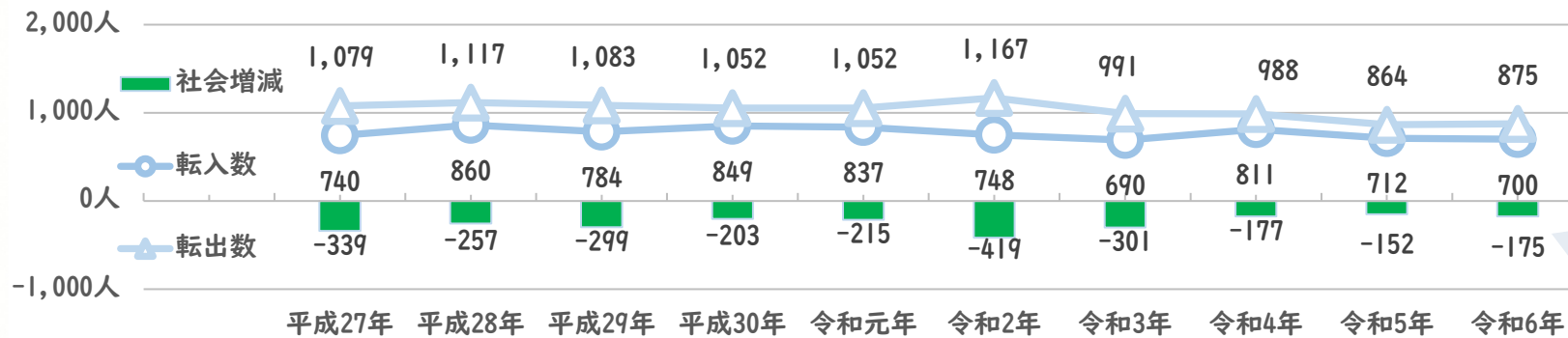
人口の変化

自然動態（出生・死亡）



令和4年以降、
自然減が
拡大傾向

社会動態（転入・転出）



令和4以降、
社会減が
縮小傾向

（住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査より）

その他の市の状況は？

自然増減に関する事項

合計特殊出生率

国 1.33
県 1.37
市 1.30



資料：人口動態保健所・市区町村別統計
(平成30年～令和4年)

平均寿命

男 80.6 歳
 (参考) 福島県：80.6 歳
女 86.6 歳
 (参考) 福島県：86.8 歳



資料：第138回 福島県統計年鑑
(令和2年)

社会増減に関する事項

転出の多い年齢層

10～14 歳
→25～29 歳



資料：国勢調査 (令和2年)

転入・転出が多い場所

1位：**郡山市**
 (全体の2割)
 2位：**三春町**
 3位：**いわき市**



資料：住民基本台帳人口移動報告
(令和5年)

産業に関する事項

市民の従業先(就業者 18,168 人)

市内 12,500 人(68.8%)
市外 5,484 人(30.2%)



資料：国勢調査 (令和2年) ※不詳 184 人

産業別就業人口*

1次 2,437 人(13.5%)
2次 6,872 人(38.1%)
3次 8,748 人(48.4%)



資料：国勢調査 (令和2年)

観光入れ込み客数

H25 24 万人
 ↓
 R05 50 万人
 (R02：14 万人)



資料：福島県観光客
入込状況調査

※1次産業は農業・林業・漁業、2次産業は製造業・建設業・鉱業、3次産業は小売業・宿泊業・飲食サービス業・医療・福祉業・金融業・情報通信業など

03. グループワーク

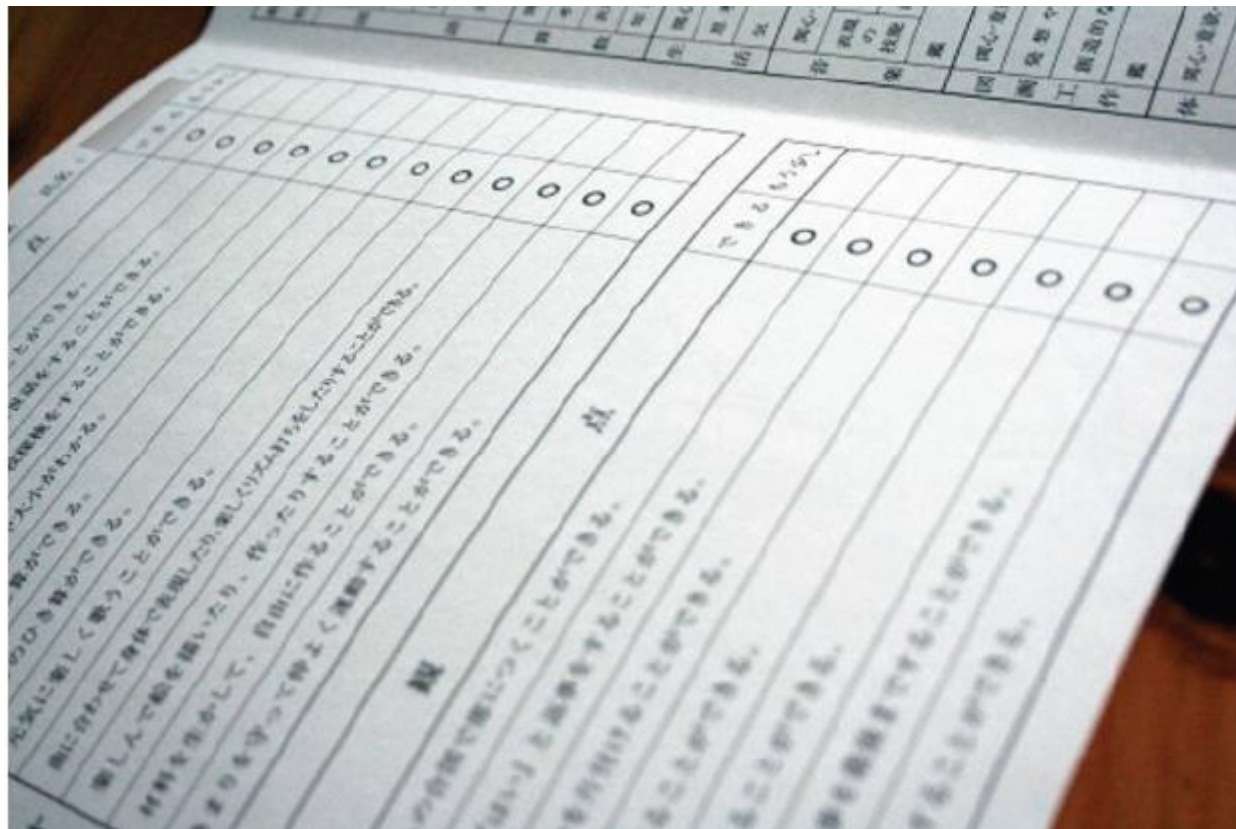
その前に・・・

今日、どんな人が集まったのか確認してみましょう！

スマホを使って、下記のQRコードを読み取ってください。



皆さんも一度はもらったことがありますよね・・・



本日のテーマ

みんなで作ろう！「まちの通信簿」

先生になったつもりで…



通信簿という・・・

子どもの

よくできていることはなにか

・

これから改善することはなにか

を学校と家庭が共有し、協力してこどもの教育に取り組むために作成

では、今回つくる通信簿は・・・

田村市の

今、できていることはなにか

・

これから改善することはなにか

住民の思いを共有し、これからのまちづくりに活かすために作成

あなたにとって、これまでの
田村市での暮らしは
どうでしたか？

今日は、これまで暮らしてきた中で感じた
「いいところ」「もう少しなところ」
をたくさん話し合ってみましょう。

仙台市

まちの通信簿



まちのようす 生活のようす			
評価の観点	大変よい	よい	がんばり ましよう
街中でも緑が多い、街路樹がきれい	○		
地震に対する備えがしっかりしている	○		
災害時に支えあう地域のつながりがある	○		
東北なのに交通が常に弱い			○
交通の便がよい (電車・地下鉄・空港)	○		
東京へも行きやすい		○	
「仙台らしさ」があまりない、観光地がパッとしない			○
温泉、動物園、水族館など実は色んなところがある			○
地域での学習が充実している (25探検、学区運動会、昔話を聞く)	○		
米がおいしい	◎		
水道水が飲める、おいしい	○		
野球、サッカー、フットボール、地域のクラブなど盛ん	○		
七夕、クリスマス、光のフェスティバルなどイベントが多い	○		
普段はあまり地域のつながりを感じない			○
震災の経験も忘れてしまっているように感じる			◎
病院や学校が多い、待機児童数ゼロ!		○	
古い路地は道が細く、通学路も危ない			○

仙台市のここが「よい!」ここが「もう少し!」



住民所感

「杜の都」にふさわしい緑豊かな都市になっています。大きな地震も起きて、12年間ねばり強く復興に取り組みんでいます。しかし、市民一人ひとりの防災意識を低下させないためにも「記憶・記録の継承」が必要だと思います。

あまりにも東京に憧れすぎて「仙台らしさ」を見失ってしまいませんか？ 仙台にしかないもの、仙台らしいものをもう一度探してPRしていくとよいでしょう。

普段の暮らしの中で、近所づきあいや少ないように感じます。地域のつながりをとておけば、日々の中でも災害が起きたときも、きと役立つはずですよ。

まちの通信簿



まちのようす 生活のようす				
評価の観点	大変よい	よい	ましよう	がんばり
街中にも緑が多い。街路樹がきれい	○			
地震に対する備えがしっかりしている	○			
災害時に支えあう地域のつながりがある	○			
東北なのに交通が雪に弱い				○
交通の便がよい（電車・地下鉄・空港）	○			
東京へも行きやすい		○		
仙台らしさ ^① があまりない。観光地がパッとしない				○
てき ^② 市場や温泉、動物園、水族館など実は色とりどり				○
地域での学習が充実している ^③ 45 探検 学民運動会 書道も聞くと	○			
米がおいしい	◎			
水道水が飲める・おいしい	○			
野球・サッカー、アロハ部活、地域のクラブなど盛ん	○			
七夕、ミナマツ、光のフェスティバルなどイベントが多い	○			
音校はあまり地域のつながりを感じない				○
一人ひとりの震災の経験もたれてしまっている気がする				◎
病院や学校が多い。待機児童数ゼロ!		○		
古い路地は道が細く、通学路も危ない				○

市全体から地域の些細なこと、暮らしや食、文化、福祉、医療など、話に上がったものはなんでも記入していきましょう！

「がんばりましょう」はまだまだ足りないところだけでなく、伸ばせばもっと良くなるものでもOKです！

仙台市のここが「よい!」ここが「もう少し!」



住民所感

「杜の都」にふさわしい緑豊かな都市になっています。大きな地震が起きて、12年間ねばり強く復興に取り組みています。(しかし市民一人ひとりの防災意識を低下させないためにも、記憶・記録の継承が重要だと思います。)

あまりにも東京に憧れすぎて「仙台らしさ」を見失わっていませんか？

仙台にしかないもの、仙台らしいものをもう一度探してPRしていくとよいです。

普段の暮らしの中で、近所がきれいかわりに感じます。地域的なつながりを感じておけば、日々の中でも災害が起きたときも、きり役に立ちます。

あなたの好きなスポット、気になるスポット、あまり知らない場所、などいいところも悪いところも地図に落とし込んでみましょう！

通信簿の最後に「担任からのひとこと」が書かれていたように、田村市の良いところを伸ばし、悪いところを改善しながら、今後もよりよいまちとなっていくよう、「担任の先生」になったつもりで住民からの一言を記入してみてください。

04. 発表

次回は・・・

回	日程	テーマ
①	11/29 (土) 9:30~11:30	みんなで作ろう！「まちの通信簿」
②	12/21 (日) 9:30~11:30	未来につながるアイデアを考えよう！
③	令和8年 1/31 (土) 9:30~11:30	
④	2/28 (土) 9:30~11:30	みんなのアイデアを共有しよう！

閉 会

本日はご参加いただき、ありがとうございました！
次回もよろしくお願いいたします。